

令和元年度 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会

議事録

[第 1 回 委員会]

1. 日時 令和2年1月24日(金) 15時10分～17時00分
2. 場所 TKP 金沢新幹線口会議室
3. 出席者 委員 : 家田委員長、高山委員、山内委員、岩倉委員、楓委員
4. 議事

(1) 委員長の選出について

■家田委員が選出された。

(2) 令和元年度独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会 運営要領(案)について

■事務局案は了承された。

(3) 整備新幹線事業の事後評価対象事業に関する事業評価報告書(案)について

■委員からの主な意見

審議の結果、以下の意見が出された。

① 事業費について

・事業費については、開業設備も含めた全線が認可された際の見込みよりも建設物価上昇の影響や法令・基準等の改正、地質不良等により増額になっている。しかし一方で、雪害対策において従来の散水消雪式等に比べて安価な側方開床式を採用するなど、コストダウンに努めている。

② 事業による効果・影響について

・本事業により時間短縮効果、地域間の交流人口の増加、大雪時の輸送安定性といった災害対策への効果などが見られる。さらに、自治体等の努力もあり、沿線の多くの箇所で見られる観光入込客数の増加や企業活動の活発化などの効果も認められる。

③ 沿線自治体等の取り組みについて

・本事業の特徴として、沿線自治体等は長い期間をかけて開業に向けた取り組みを進めてきた。また、それらの取り組みは地域ごとに特色を持っていると言える。

5. その他

- 上記意見を踏まえた資料の修正を行い、第2回委員会を開催して修正内容を審議することとなった。